

7/6 火

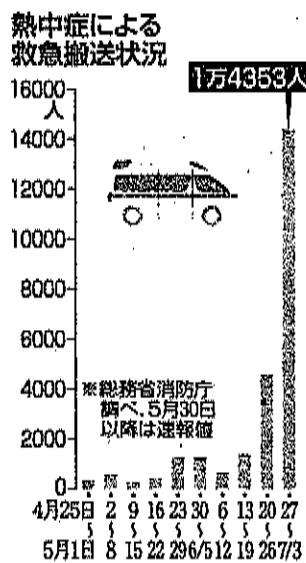
熱中症搬送 6月最多

全国1万5657人、死亡17人

下旬猛暑影響

総務省消防庁は5日、6月に熱中症で救急搬送された人が全国で1万5657人に上ったとの速報値を発表した。6月の累計を始めた2010年以降で初めて1万人を超え、6月の1カ月として過去最多となりた。これまででは11年の6月が最も多かった。60人が最も多かった。6月下旬から全国を襲った猛暑の影響とみられ、7割が6月24日～30日の1週間に集中した。

搬送後に死んで確認されたのは17人で、6月としてたのは17人で、6月として



総務省消防庁は5日、6月に熱中症で救急搬送され

た人が全国で1万5657人

これまで最多だった11年の14人を上回った。

消防庁の担当者は「暑例の暑暑に加え、急に気温が上がったため体が慣れず、体温調節が追いつかなかっ

た可能性がある」と分析。夏本番を迎えていることもあり、今後も小まめな水分補給や休憩など、熱中症対策の徹底を呼びかけている。

6月の搬送者内訳は、

週間以上の入院が必要な重症が439人、短期の入院が必要な中等症は5261人など。搬送者の5割超を65歳以上の高齢者が占め、発生場所の4割は住居だつ

た。また、6月27日～7月3日までの直近1週間の搬送者数は1万4353人。4551人だった前週の3・2倍に増え、今年5月以来

の1週間として最多となつた。都道府県別は東京200人、埼玉1383人、愛知1036人など順。搬送後に死亡が確認されたのは6月29日に7人、7月

1日に10人などで、1週間では27人に上った。5月1日～7月3日までの累計搬送者数は前年同期比3・4倍の2万4495人だった。